

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
国際政治学	共通 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	坂上 宏
履修の前提条件		①「政治学Ⅰ・Ⅱ」をすでに受講済みであることが望ましい。②カント『永遠平和のために』を読了しておくことが望ましい。※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。			
授業概要 (Course Outline)					
<p>近代国際関係の成立に関して、その最も重要な契機となるのが1648年ウェストファリア講和会議です。この会議を経て、主権を有する国民国家を単位とする「国際関係」が生まれたと考えられています。この講義の前半では、H.JモーゲンソーおよびF.Lシューマンの所説に依拠しながら、近代国際関係の成立の背景として、中世末期から同会議に至る西ヨーロッパ世界の変遷について説明し、次に近代国際関係の礎石をなすところの国家主権、国際法、勢力均衡について解説します。後半では、イマヌエル・カントの道徳論とそれに立脚するところの平和論について解説します。カントは、人間は自ら進んで善を行う「自律」的存在であるとし、そのような「市民」から成る国家間の連合によって平和が実現されると主張します。このようなカントの平和論の根底には、彼の哲学的に深遠な洞察があります。この講義では、そうした彼の思想についても可能な限り言及することにはしたいと思います。</p>					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				○
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
<p>本講義の目標は、第一に受講者がH.JモーゲンソーおよびF.L.シューマンが説明するところの近代国際関係の成立とその基本的特徴について理解できるようになることです。第二にイマヌエル・カントの説く平和論の内容について理解できるようになることです。これらにより、受講者の国際政治に関する歴史的・理論的視野を広げることがさらなる目標です。</p>					
事前学習の内容	配布プリントや参考書を読んで次の授業の概要を把握し、疑問点などを明確にしておくこと。				
事後学習の内容	配布プリント、ノート、参考書などを読んで、授業の内容について理解を深めておくこと。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
<p>対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。 毎回の授業の終わりにコメントカードの作成・提出をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。</p>					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびメール(sakagami@kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
<p>学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。</p>					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業の方針、現代国際関係の特徴(ボーダーレスとボーダーフル) :プリント1		
第2回	中世ヨーロッパ社会の特徴、中世から近代への移行(ルネサンス運動、宗教改革) :プリント2		
第3回	中世から近代への移行(資本主義、絶対王政国家の出現)、ドイツ30年戦争 :プリント3		
第4回	ドイツ30年戦争とウェストファリア講和条約～西欧国家体系の誕生、国際関係の誕生と外交の形成 :プリント4		
第5回	国際関係の誕生と外交の形成(中世イタリアの状況)、外交の目標と手段、国際政治とは何か :プリント5		
第6回	西欧国家体系を構成する概念その1(国家主権の概念について、その思想の変遷) :プリント6		
第7回	西欧国家体系を構成する概念その1(国家主権の概念について、その思想の変遷) :プリント7		
第8回	西欧国家体系を構成する概念その2(国際法と国際社会) :プリント8		
第9回	西欧国家体系を構成する概念その2、西欧国家体系を構成する概念その3(勢力均衡とパワー・ポリティクス) :プリント9		
第10回	西欧国家体系を構成する概念その3(勢力均衡とパワー・ポリティクス) :プリント10		
第11回	西欧国家体系を構成する概念その3、国際政治と理想主義の思想 :プリント11		
第12回	イマヌエル・カントの思想①その生涯と思想の要点、カントの思想②「純粋理性」、道徳論～実践理性 :プリント12		
第13回	カントの思想③平和論その1(戦争状態と平和状態、平和状態と市民的体制) :プリント13		
第14回	カントの思想③平和論その2(国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好) カントの思想④ 自然の摂理と永遠平和の保証について、道徳と政治の関係 :プリント14		
第15回	カントの思想④ 自然の摂理と永遠平和の保証について、道徳と政治の関係 :プリント15		
第16回	定期試験、ポートフォリオ作成等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリントを配布する			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『永遠平和のために』『君主論』 『リヴァイアサン(1)～(4)』	カント、マキャベリ、 ホッブズ	岩波文庫	4003362594,4003400000 4003400410・429・437・445
『国際政治 上中下』※特に中巻 『国際政治 上下』※特に上巻	モーゲンソー(原彬久ほか訳) シューマン	岩波文庫 東京大学出版	4003402812・2820・2839, 4130300296,413030030X
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業コメントカードの提出、「科目別履修確認チェック表」の提出)。 成績評価の基準 ①西欧国家体系の特質について、特にウェストファリア体制の成立、国家主権、国際法、勢力均衡について理解しているか。 ②カントの平和論について、特に実践理性、平和状態と市民的体制、国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好に関してそれぞれの内容を理解しているか。</p>			